

よねざわ

市議会だより

Yonezawa City Council

6月
定例会

3月

9月

12月

vol.169

令和4年
8月1日

学園都市・米沢

『学園都市・米沢』をテーマに、本市にある大学等の地域に密着した
学術研究や、地域と学生の交流活動などを紹介していきます。



山形県公立大学法人 山形県立米沢栄養大学

加藤研究室の活動

運動と栄養で高める脳と身体の健康を目指し、
ヒト及び動物を対象とした実験から認知症予防や
脳機能向上に効果的な組合せを研究しています。

ホームページ

<https://www.city.yonezawa.yamagata.jp/1065.html>

米沢市議会





6月定例会

6月6日～6月23日

議案全てを 原案のとおり可決

令和4年6月定例会は、6日から23日までの18日間の会期で開会しました。

初日の本会議では、報告案件12件を了承し、米沢市公平委員会委員の選任及び米沢市固定資産評価審査委員会委員の選任に同意した後、議案10件を各委員会に付託しました。

8日から10日の3日間は、15名の議員による一般質問を行いました。また、10日の本会議において、追加議案2件を上程し、所管の委員会に付託しました。

14日には総務文教常任委員会、15日には民生常任委員会、16日には産業建設常任委員会を開き、議案の審査を行うとともに、産業建設常任委員会では、市道路線の廃止及び認定に係る現地調査を行いました。

17日には予算特別委員会を開き、補正予算2件について審査を行いました。

最終日の23日は「かりゆし議会」と称し、出席者全員がかりゆしウエアを着用して本会議を開催しました。

開議後、付託された各委員会の委員長報告を行い、議案12件を全て原案のとおり可決しました。また、議員発議による「水田活用の直接支払交付金の見直しに関する意見書の提出について」を原案のとおり可決し、最後に、議員派遣について了承し、6月定例会を閉会しました。

委員会報告

各常任委員会から質疑の主なものをお知らせします。



総務文教

▼財産（バス車両）の取得について

本案は、現在使用している市民バス車両の経年劣化により、市民バスの運行に不具合が生じるおそれがあることから、これを更新しようとするものです。

【委員】バスの下取り価格が1円ということだが、その価格が妥当であるかどうかのように判断したのか。

【地域振興課長】このたびの入札では、下取り価格を差し引いた金額で入札することを仕様書に明記しており、入札参加者は、下取り価格を自ら見積もった上で入札金額を算定していることから、下取り車両の価値は適正に評価されていると考えています。

【委員】一般的に、車は車としての市場価値がなくなっても、鉄として相応の価値があるのではないかと。

【地域振興課長】鉄などの材料としての価値がどの程度あるのかを専門業者に聞き取りしたところ、バスの年式や材質などによって差異があり一概には言えませんが、一般的にバスを廃棄する場合、8万円程度の価値が見込まれるとの回答があったことから、今後の入札においては、廃棄した場合の取り扱いを考慮した上で、仕様書の作成などについて研究したいと考えています。

民生

▼米沢市立病院使用料及び手数料条例の一部改正について

本案は、診療報酬の改定に伴い、非紹介患者初診加算料及び再診加算料の額を改定しようとするものです。

【委員】非紹介患者初診加算料については、以前の診療報酬の改定の際、他の病院では、厚生労働省告示で示された額に消費税を上乗せした額で定めたところもあった。今回の改定において、米沢市立

産業建設

病院では、消費税を含む総額が厚生労働省告示で示された額となるように定めているが、消費税を上乗せした額としなかったのはなぜか。

【医事課長】 これまでの増額によって、年々、徴収件数が減っており、ある程度の効果が出ていることから、当院としては、まずは消費税を含む総額が厚生労働省告示で示された額となるように定めることが適当であると判断しました。

【委員】 非紹介患者初診加算料及び再診加算料の増額について、どのように市民への周知を図っていくのか。

【医事課長】 広報やホームページを活用するとともに、各診療所へのポスター掲示、来院者へのチラシ配付などにより周知していきます。

▼米沢市子育て世代活動支援センターの設置及び管理に関する条例の設定について

本案は、地方自治法第244条の2第1項の規定により、子育て世代活動支援センターの設置及び管理について定めようとするものです。

【委員】 今回条例を設定するのは、主に屋内遊戯施設を設置するためであるが、子育て世代活動支援センターという名称にした意図は何か。



▲屋内遊戯施設の完成イメージパース

【子育て支援課長】 当センターをすこやかセンターや保育園といった子育て関連施設が立地するエリアに整備することにより、このエリア全体で子育て世代の活動を支援していきたいという意図から、当センターの名称を決定しました。

【委員】 施設を使用してイベント等を開催することはできるのか。

【子育て支援課長】 営利目的のイベントについては施設使用の許可をすることはできませんが、福祉目的の物販などの場合、行政財産の目的外使用で許可を出すことも考えられることから、イベント等の開催に関する使用の申請があった際は、その都度、指定管理者との協議の上、使用の許可について判断していきます。

▼米沢市勤労者福祉センターの設置及び管理に関する条例の廃止について

本案は、米沢市勤労者福祉センターを廃止しようとするものです。

【委員】 廃止に伴って、勤労者福祉センターが担っている、施設利用の供与や職業情報提供、職業講習会等の開催などの業務は、市としてどのように行っていくのか。

【商工課長】 施設利用については、会議室等は今までどおり利用できますが、体育室は今後利用できなくなるため、利用者へ代替施設を紹介し移行していただきます。また、職業情報の提供や職業講習会等の開催については、ハローワーク及び商工会議所と連携して、今後も継続して行っていきたいと考えています。

【委員】 勤労者福祉センター廃止後の勤労者福祉に関する施策は、今後、商工会議所などと連携して取り組んでいくとのことだが、市として勤労者福祉をどのように向上させていくのか。

【商工課長】 勤労者福祉の向上と雇用の促進は、市の喫緊の課題として捉えています。特に、若者の地元定着に向けた取組について、今後も継続して、市が主体的に行っていきたいと考えています。

▼市道路線の廃止及び市道路線の認定について

両案は、市道改良事業に伴い1路線を廃止し、1路線を再認定しようとするものです。

【委員】 林泉寺二丁目住宅東支線は通学路になるとのことだが、整備後は交通量が非常に多くなると予想され、なおかつ幅員が狭い区間もあることから、朝夕のラッシュ時間帯には交通安全対策をしっかりとるべきではないか。

【土木課長】 現道を拡幅するという対応は立地の観点から困難ですが、ご指摘のとおり、通学路となることもありますので、交通安全の面については十分配慮すべきであると認識しています。今後、対策を検討していきたいと考えています。

表彰

全国市議会議長会から、次の方が表彰されました。

●一般表彰

(議員在職15年以上)

(写真右から)

- 島軒 純一 議員
- 工藤 正雄 議員
- 相田 克平 議員
- 佐藤 弘司 議員
- 小久保広信 議員

●議員員感謝状

- 相田 克平 議員





至誠会
しせいいかい

井上由紀雄
いのうえゆきお
議員

森林資源の利活用に
向けて

木育における野外活動は、五感を使い危険予知や、回避行動を身につける絶好の機会なので、中学校で行ってはどうか。
〔教育指導部長〕 森林学習というのは難しいと考えていますが、中学校の技術・家庭科において、小学校での学びを

生かしながら木育につながる学びを充実させていきます。
三沢西部、三沢東部小学校の「緑の少年団」「学校林活動」は統合後も継続されるのか。
〔教育長〕 両校の活動とも関係者の方々に支えていただき継続しています。統合準備委員会の場を通じ、学校、地域及び関係団体の検討作業を今後も見守っていきます。



市民平和クラブ
しみんへいわ

小久保広信
こくぼひろのぶ
議員

若年人口の転出超過の
対策をどうするのか

進学して転出した女性が、卒業後、男性の半分ほどしか戻らない状況にあるが、本市の状況はどうなっているのか。女性が戻らない状況をどう捉え、どう対策するのか。
〔企画調整部長〕 令和3年1月から12月の本市の状況は、

男性が96人の転入超過、女性が211人の転出超過、合計115人の転出超過です。
〔産業部長〕 県や地域産業団体等と連携し、女性が活躍している市内企業を積極的に紹介するとともに、女性に限らず、やりがいがあり、安心して働き続けられる仕事や快適な職場環境を目指すため、企業の意識改革、機運醸成に向

多くの方が、木と触れ合いながらウォーキングが楽しめるように、近くの森林公園等も「FAN+WALK」コースに加えることはできないか。
〔教育長〕 地区の豊かな自然との触れ合いが可能な取組もあるようですので、広く市民の皆様にも周知しながら新たなコースの設定についても検討していきます。

地産木材の利用促進と伐採、搬出などの基盤整備はどのように進めるのか。
〔産業部長〕 これまでの木材利用の対象の公共建築物だけではなく、広く一般建築にも

けた取組を推進していきま

新型コロナウイルス感染症に伴う特
例貸付けの問題点の対応は

貸付けは、住民税非課税世帯は償還免除だが、償還免除されない世帯で返済ができない場合はどうするのか。
〔健康福祉部長〕 令和5年1

月以降に返済ができない世帯への対応は、実施主体の県社会福祉協議会と出資者の国とで対応すべきですが、他の貸付けと同様に、貸付窓口の米沢市社会福祉協議会では、本人の生活状況に応じて、生活

拡大し、建築物木材利用促進協定を締結し、建築物全般における木材利用を一層進めていきます。
また、生産基盤整備計画では、航空レーザー測量の成果を活用し、森林経営管理制度



▲三沢東部小学校森林教室

〔上下水道部長〕 技術者の不足が今、顕著になってきています。
効率的に漏水箇所を特定できるということであれば、日本水道協会から全国に情報が発信されることも考えられますので、補助事業創設への働きかけも必要と思っております。

水道管の更新の判断と漏水調査へ新技術を導入できないか

更新時期の判断や漏水調査にAIや衛星写真を活用できないか。

困窮者自立支援制度や生活保護の申請など、活用できる制度の利用を勧めています。
〔米沢市子どもの生活に関するアンケート結果から見えること〕

自身のヤングケアラーへの該当の設問で、14.7%が「当てはまる」である。全国に比べて認知度が高いことを差し引いても高いと言える。早急な対策が必要ではないか。
〔健康福祉部長〕 早期発見する手だてを講じること、福祉分野、教育分野、医療分野などの垣根を越えた多くの機関が連携し、切れ目のない支援

拡大し、建築物木材利用促進協定を締結し、建築物全般における木材利用を一層進めていきます。
また、生産基盤整備計画では、航空レーザー測量の成果を活用し、森林経営管理制度



一般質問



一新会
とりうみ

鳥海 隆太
議員

増える空き家の対策について

空き家が増える原因と問題をどう捉えているか。

〔建設部長〕原因としては、人口減少、少子高齢化、核家族化などが考えられます。問題としては、建材のばたつきによる騒音、雑草の繁茂、冬期間の通行障害など、防犯、

衛生、景観など住民生活に様々な影響を及ぼしていることです。

空き家は最終的に除却することになるが、その前に学生が利用できるシェアハウスへの再利用をモデル的に行ってみてはどうか。

〔建設部長〕米沢で暮らす学生にとっても、大変有意義な活用方法であり、再生された



一新会
いっしんかい

成澤 和音
議員

歩行者を最優先とした活力あるまちづくりを創るべき

駅前を*トランジットモール化し、にぎわいを取り戻しているところもある。米沢駅前も整備構想をつくれぬか。

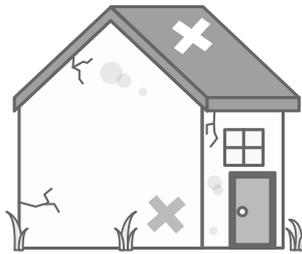
〔建設部長〕現時点では、駅前広場を改修する計画は持っています。国のまちづくりの方向性は、居心地がよく、

歩きたくなるまちを形成していく流れです。まずは、使い方などのソフト面における安全性の向上について検討を進めていきたいと考えています。

まつり期間以外についても上杉神社周辺を歩行者天国にし、安心して観光できるようにできないか。

〔建設部長〕上杉神社周辺は、

空き家をシェアすることにより、まちづくりを学ぶ機会やコミュニケーション、活動の場が広がる施策であると考えています。まずは、課題を一つ一つクリアし、その活用を積極的に推進したいと考えています。



本市の中でも特に入り込みが多い観光スポットであり、安全対策に対しては配慮が必要な状態となっています。交通安全上の課題等もあることから、実証実験の可能性も含め、検討していきます。

スマートシティ・米沢を目指すべき

来庁や窓口間の移動を減らすために、オンラインで相談できる体制を構築できないか。

〔企画調整部長〕今年度、職員間のビジネスチャットやオンライン会議ができるツールを実証実験する予定です。市

プロ職員の育成が本市の利益、市民福祉の増進につながる

業務の経験、知識は組織の財産でもあるが、本市で考える職員に必要なものとは何か。

〔総務部長〕行政のプロとしての意識と能力。自ら考え市民と協働し、行動する力。その根底にある本市の発展と市民福祉の向上を願う強い気持ちと考えています。

本市の一番の財産は、職員の知識、経験である。行政のプロになるまで人事異動は不要ではないか。

〔総務部長〕人事異動により窓口にいられた方が分庁舎にも用件がある場合に、このツールを使用して、窓口間を結べないか、併せて検証を行いたいと考えています。

予約が確認でき、何度も足を運ばなくても済むような公共施設の予約システムの構築とキャッシュレス払いの対応はできないか。

〔企画調整部長〕アクティビティ米沢については昨年6月からオンライン予約が可能となりました。今後、対象施設を拡大するに当たり、オンラインと従来の方法による予約の二重管理の問題やシステムの共

職員の業務知識は一時的に活用されなくなることも考えられますが、異動により新たな視点による業務改善、効率化といったメリットが期待できると考えています。

人事異動ではなく、やりがいを生かせるような組織づくりが必要ではないか。

〔総務部長〕人事異動により職場の活性化、交流、硬直化を防ぐものと考えます。

人事異動をしないことのデメリットは。

〔総務部長〕業務の属人化や不正が起きることも考えられます。

用化等、様々な課題がありますので、他自治体の事例を参考に、利便性向上につながるよう検討していきます。



*トランジットモール：自家用自動車の通行を制限し、バスやタクシー、次世代型路面電車などの公共交通機関だけが優先的に通行できる形態。



公明クラブ
佐藤 弘司 議員

地方創生臨時交付金等、
これまでの活用実績は

コロナ禍以降、国や県の支援施策をどのように活用したのか。

〔総務部長〕 新型コロナウイルス感染症拡大防止及び地域経済や住民生活を支援する目的で、米商連共通買物券事業費補助金、緊急事業継続給付金

事業、中小企業緊急災害対策
利子補給補助金のほか、宿泊
助成キャンペーン事業などに
活用しています。
令和2年度は、約13億85
00万円、令和3年度は、約
5億9900万円、令和4年
度の交付予定額については、
昨年末に約4億4000万円
が交付限度額として示されま
した。加えて、原油価格・物価



市民平和クラブ
山田 和太郎 議員

プラスチックごみの
収集ルール拡大へ

本年4月1日よりプラス
チックに係る資源循環の促進
等に関する法律が施行され
た。現在はプラスチック容器
包装やペットボトルなどは資
源物として収集されるが、そ
他のプラスチック製品はご
みとして収集されている。こ

れを分かりやすい分別ルー
ルに変更し、プラスチック資源
回収量の拡大を図るものだ。
法の趣旨にのっとりプラス
チックごみの回収を拡大する
必要があるのではないかと。
〔市民環境部長〕 法律により、
分別の基準を改めて策定し、
その基準に従って適正に分別
し、排出されるよう市民の皆
様に周知する努力義務が市に

高騰等緊急対策を受けて、
約3億4000万円が拡充
され、現時点で、総額は約
7億8200万円となっております。

※読書バリアフリー法
の捉え方は

市立米沢図書館の障がい者
利用に対する配慮と現状は。

〔教育長〕 図書館サポーター
による介助支援を行っていま
す。図書では、点字図書や大
活字本を所蔵しているほか、
視覚障がい者や発達障がい
のある方など、活字による読
書が困難な方にも読書を楽

課せられています。分別ルー
ルを変更したいと考えていま
すが、変更には再資源化事業
者との調整や、置賜広域行政
事務組合とも協議が必要なた
め、ごみ処理基本計画等の見
直しなどと並行して協議等を
進めていきます。

新病院はどのようになるか

2023年度の開業年度か
ら大幅な医療収益の増を見込
んでいる。その理由は何か。

〔病院事業管理者〕 米沢市立
病院と三友堂病院の入院患者
を急性期と回復期に切り分
け、それぞれの患者数や診療

しんでいただけるよう努め
ています。

小中学校の水屋等の
蛇口の改良を

今後はウィズコロナ社会と
の認識に立ち、学校は教育施
設であるとともに、災害発生
時には避難所になることを前
提に、水場の蛇口を接触の少
ないレバー式やセンサー式に
改良すべきではないかと。

〔教育長〕 蛇口の現状は、約
9割が直接握り、ひねって開
閉するハンドル式水栓です。
レバー式水栓は、安価で交換
も簡単であり、感染リスクの

単価を算出した結果、両病院
の急性期を当院に集約した分
として患者数は開院前と比較
して約二千人増加します。診
療単価も約1万2000円増
加すると見込んでいます。

急性期医療は米沢市立病院、
慢性期医療は三友堂病院が受
け持つことになる。どのよう
に機能分化されるのか。

〔病院事業管理者〕 三友堂病院
に透析、健診と人間ドック、
訪問看護、給食の機能、入院
機能として地域包括ケア病棟
が集約されます。米沢市立病
院には、救急、化学療法、手
術、高額放射線検査、血液な



▲新病院（米沢市立病院と三友堂病院）の完成イメージ図

※HCU (high care unit)：入院機能として重症患者を診る入院居室。



▶小学校の水飲み場

どの検体検査、病理検査の機
能、入院機能として*HCU
が集約されます。

低減にも有効であるため、今
後、水飲み場の整備や修繕の
際には、積極的に交換してい
きます。更に、既存の蛇口に
についても計画的に導入を検討
したいと考えています。

※読書バリアフリー法：視覚障がい者や発達障がい者が自分に合った方法で読書できるよう、本の様々な提供方法を推進するための法律。



市民平和クラブ
しみんへいわ

かげさわ まさお
影澤 政夫 議員

本市職員のメンタルヘルス対策の実情と課題

今年3月に総務省から公表された総合的なメンタルヘルス対策に関する研究会報告書には、地方自治体職員のメンタル不調による一か月以上の休職者数は58人に一人との報告があり、主因として職場での対人関係を挙げている。本市における

要因分析や、対策はどのように行われているか。

〔総務部長〕本市では令和3年10月に「米沢市職場環境を悪化させる行為の防止及び対応に関する指針」及び運用要領を策定し、各種相談窓口を設置・運用、ハラスメント防止に努めています。また、第三者からの不当要求対策マニュアルの整備や、労働環境

対策として、労働安全衛生法に基づく体制・職場巡視等を行っています。各種相談窓口については、年一、二件程度の相談が寄せられ、適切に対処しています。

年間一、二件の相談件数とのことだが、メンタル不調によって休職している職員数との乖離はないか。

〔総務部長〕相談件数一、二件と体調を崩し休職している職員数には乖離があり、ストレスチェック対策が完全に追いついていない現状と認識しています。今後、外部機関と新たな手法も視野に入れた



さくらだ つつみ
櫻田門

つつみ いくお
堤 郁雄 議員

道路維持補修について

大雪や経年劣化により、市道の傷みが激しい。近年の補修要望の件数は増えているのではないか。

〔建設部長〕高度経済成長期に集中して整備された市道は経年劣化に加えて、低温の影響、融雪期の凍結融解作用に

よる、クラックや穴などの路面損傷が増えている状況です。市民から穴などの情報が寄せられた件数は、令和元年度は522件、令和2年度は531件、令和3年度は771件となっています。また、オーバーレイ等の舗装の要望件数は、今年4月1日現在で57件。整備延長にすると約28キロメートルになります。

パッチングなどによる部分補修では破損を繰り返すことになり、結果として補修費用も増える。オーバーレイ等の大規模補修を計画的に行う必要があるのではないか。

〔建設部長〕長期的なコスト縮減や予算の平準化の必要性については認識しています。計画の策定については、道路の安全を確保する意味で、早急に計画を策定し、それに基づく予算要求をしながらやっていくべきものと考えています。それらについては、すぐにでも進めていきたいと考えています。

〔総務部長〕手引書を整備し運用しています。今のところ手引書では、会議録作成等のため、いわゆる備忘録的な録音データは公文書に当たらないと定義しています。しかし、現在のデータ管理については、様々な手引等が追いついていない状況を認識しており、判例等も様々勉強し、早急に整えていきたいと考えています。

がら進めていきます。



本市情報公開はICT化が進む業務態に合っているか

特に録音データ等、可搬媒体の運用管理は厳格に行われ



◀道路が傷んで空いた穴

電子版プレミアム付き商品券について

経済再生の一環としてプレミアム付き商品券があるが、本市が実施する電子版プレ

ミアム付き商品券は、今後お金をチャージしたり、クレジットカードとひもづけできるなどの拡張性はあるのか。

〔産業部長〕電子版商品券については、既に実施している自治体も一定程度あり、多くのシステム事業者においてシステム構築が図られている状況です。本市が導入するシステムは一から構築するものではなく、パッケージ化されたもので、将来的には地域ポイントや、地域通貨事業などと連携してシステムを拡張できる制度設計となっています。



至誠会
しせいかい

ふるやま
ゆうき
古山 悠生 議員

「子育てするなら米沢市」を実現するためには

今年度、重点的に取り組む子育て支援施策は何か。

〔健康福祉部長〕 保育料の無償化の拡充や、児童虐待の未然防止など総合的支援を進めるために米沢市子ども家庭総合支援拠点の設置を行いました。

また、令和5年10月の屋内

遊戯施設のオープンを目指して今年度より工事に着手するほか、公立保育所での医療的ケア児の受入れや多胎児への子育て支援事業に取り組んでいきます。

「子育てするなら米沢市」をどうPRしていくのか。

〔健康福祉部長〕 子育てハンドブック、広報、市のホームページや各種SNSを通じて

発信していますが、PR、発信不足で情報提供の在り方に課題があると感じています。

現在、子育て支援アプリ導入の準備を進めており、母子手帳交付時に登録を行うと、出産前は出産予定日に合わせた情報、出産後はお子様の成長に合わせた情報をピンポイントで発信できる仕組みとなっております。

また、ホームページの検索のしやすさなど、子育て世代の方がストレスなく必要とする情報を取得できるように検討していきます。



◀「子育てするなら米沢市」を目指して

本市の結婚支援策は

本市の婚姻数は、近年どのように推移しているのか。また、結婚支援策についてどのように取り組んでいるのか。

〔企画調整部長〕 平成30年度

移設すれば除雪は可能と判断しています。隣接する河川敷の整備ですが、河川区域内の支障木の伐採など適正管理を県にお願いしていきます。

市宮陸上競技場サブグラウンドの利用度を上げられないか。

〔教育長〕 近隣の学生や教職員も含め、利便性の高い施設とするため検討していきます。

松川公園をスポーツ公園施設にできないか。

〔建設部長〕 大がかりな改修は難しいですが、可能な限り市民が利用しやすい公園になるよう維持管理に努めていきます。



▲県立米沢栄養大学・米沢女子短期大学に隣接するサブグラウンド

流志田堰の周囲を散策道路にできないか。

〔建設部長〕 石積み水路は土木遺産に匹敵し、地域の方々や堰組合との連携を図り活用の方角性を整理していきます。

大雪による雪捨場等の影響について

指定雪捨場に運ばれた雪の量と、雪の敷きならしや春の雪消しの委託料はいくらか。

〔建設部長〕 排雪作業を3月中旬まで行い、排雪量は約30万立方メートルと推測します。雪捨場に運ばれた雪の敷きならしの委託料は約840

一新会
いっしんかい

くどう
まさお
工藤 正雄 議員

0万円でした。自然融雪期間を設けたことにより、雪消し費用は約2730万円と前年比約19%の減となりました。

大雪の年には雪の受入れも限界になる。今後雪捨場の増設は考えているのか。

〔建設部長〕 管理費や委託料の増加、近隣住民への影響などを検討する必要があります。現雪捨場の占用面積を増

松川地区のポテンシャルを生かした環境整備について

米沢栄養大学周辺の除雪等の環境整備は考えているのか。

〔建設部長〕 大学正門前の道路北側歩道の除雪に関して、支障となっている電力柱等を



いんがふ
公明クラブ

やまだふさこ
山田富佐子 議員

男性トイレにサニタリーボックス(汚物入れ)設置を

男性特有の前立腺がんや膀胱がん等の疾病や、加齢により尿漏れパッドを使用する男性が増えている。交換後サニタリーボックスがなく捨てられず、ポケットやカバンに入れて持ち歩かなければならぬため苦労されていると聞

く。庁舎をはじめ不特定多数の方が集まる伝国の杜、道の駅、市営体育館、ナセBA等の公共施設に設置してはどうか。

〔総務部長〕 本県の膀胱がんや前立腺がん罹患率は全国平均に比べ高く、尿漏れパッドを日常的に使用している方が一定数いると推測されます。公共施設において、配慮が必



▶6月下旬、庁内男子トイレに設置されたサニタリーボックス

要と考えられ関係部署と協議し設置を進めていきます。

「お悔やみ窓口」の設置を

ワンストップ対応の「お悔やみ窓口」の開設により、ご遺族

が各課を回る移動の手間の解消、待ち時間短縮や不安の軽減が期待される。また、手続きの迅速化を図るために窓口の設置を検討してはどうか。

ヤングケアラーへ支援強化を

中学生を対象にした本市調査では、ヤングケアラーが14.7%で、7人に一人が当ては

まる。例えば35人のクラスで5人いることになり、全国調査の17人に一人よりはるかに多く、早急な支援策が必要と考えるがどうか。

〔健康福祉部長〕 中学生の7人に一人がヤングケアラーで、11・6%が4時間以上のケアをしていることは重要な課題と捉えています。また、子どもの生活に何らかの支障が出ている可能性があるか、本人が声を上げやすい環境づくりと、子どもの負担軽減に向けての相談体制や支援体制の整備を進めていきます。



さくらのたちもん
櫻田門

やまむら
山村 明 議員

ウクライナ情勢・円安・エネルギー不安等による影響は

小麦の不足や消費者物価の上昇、天然ガス・原油不足が我々消費者にまで影響することが想像される。本市で製造業を営む企業の多くは、海外から原材料を調達しており、円安のダメージを受けるのではないか。また、国・県への

要望陳情を活発に行っていくべきではないか。

〔産業部長〕 現在、我が国は景気の先行き不透明感がより一層増大している状況です。市内の業者への聞き取りによると、円安による金属価格の高騰や材料調達全般で仕入れ値が高止まりしているのと

とで、本市の産業に与える影響は大変大きいものと考えら

新旧庁舎の高熱水費の比較

昨年5月の新庁舎稼働から一年が経った。床面積も少なくなり光熱水費はどのように変わったのか。また、その要因はなにか。

〔総務部長〕 旧庁舎と比較し

れます。市民の皆様の家計負担が非常に心配されることから、市民生活支援などの支援策は、状況を見ながら時期を逃すことなく取り組んでいかなければならないと考えています。また、関係機関に対する要望もしっかりと考えていきます。

て、電気は22万5902キロワットアワーの減となり、空調設備にガスヒートポンプを採用したこと、全ての照明をLED照明にしたことの二つが大きな要因と考えています。水道は、2958立方メートルの減となり、節水型の水道設備を採用し、トイレの水洗などに雨水を利用したことが要因と考えています。LPガスは、2万998・5立方メートルの増となりましたが、空調設備にガスヒートポンプを採用しているため、冷暖房にLPガスを使用することで増加したものです。電



▲明かりが灯った庁舎

気・上下水道・LPガス・灯油の光熱水費について、一年間における旧庁舎との比較は、総額で1020万8572円の減額となっています。



日本共産党市議員
たかはし ひろし

高橋 壽 議員

広幡・六郷・塩井統合小学校の給食は、自校調理方式ではないのか

昨年5月に教育委員会が策定した米沢市学校給食基本方針によれば、「小学校は自校調理方式の継続を基本とする」とした。

しかし、先の12月定例会の答弁では「令和9年に広幡小学校、六郷小学校、塩井小学

校が統合を予定している小学校については、共同調理場が近接した場所に建設された場合、共同調理場を給食施設とすることは当然検討されるべき」とした。

これは「米沢市学校給食の基本方針」を逸脱している。

令和3年5月21日市政協議会、9月定例会一般質問、9月6日市政協議会、12月定例



櫻田門 せきや

関谷 幸子 議員

アフターコロナにおけるインバウンド対策は

国は、外国人観光客の受入再開と入国者数上限を引き上げるとした。

本市でも第4期米沢市観光振興計画の中で、インバウンド観光の推進を掲げているが、どのように進めているのか。

〔産業部長〕 昨年度は、外国人目線による多言語ホームページの改修や外国人向けインフルエンサーを活用した動画作成と発信、台湾とのつながりを生かした現地エージェンツによるブース出展など、誘客プロモーションを積極的

に実施したほか、電動レンタサイクルなどの受入体制整備を行い、アフターコロナに備

会一般質問の答弁は一致していないと考えるが、いつ、どのような議論を経て変更したのか。

〔教育長〕 小学校における給食調理方式は、米沢市学校給食基本方針を実現するための調理方式の考え方に即し、食の大切さ、作り手への感謝の心を育むための食育を目指すことを重視し、身近で食に触れる機会を大切にしながら自校調理方式の継続を基本としています。

この考えに基づき、今後統合を予定している広幡小、六郷小、塩井小の統合小学校に

えた事業を展開してきました。今年度も新たなターゲット層の獲得を目指し、コンテンツの磨き上げと情報発信を併せた新事業を展開していく予定です。

についても、自校調理方式を基本に検討していくことが必要と考えています。

現在、学校給食共同調理場については、基本構想・基本計画の策定業務を進めており、建設場所についても検討している段階です。

今後、建設地が決定されていく中で、統合小学校として使用していくことを予定している第六中学校の近接地に共同調理場が建設される場合については、施設整備の効率性や財政的な優位性を考慮しながら、現施設に新たに給食施設を整備するか、当該共同調

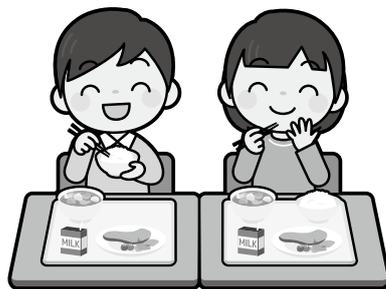
「学園都市・米沢をさらに発展させていくための施策は

大学卒業後も、本市に残ってもらうための取組は。

〔企画調整部長〕 具体的な取組は、ものづくりのまちとして産学官が連携し、インターンシップの受入れを広げている活動のほか、米沢商工会議所と連携して「米沢地域人材確保定着事業」を展開しています。各大学の進路担当者と地元企業、行政との就職情報

の交換、山形大学工学部と地元企業との懇談会、市内3大学の学生・保護者向け地域産

理場を小学校の給食調理施設として位置づけることができるか、慎重に検討していく必要があると考えています。



業見学ツアーの開催、やまがた就職企業ナビ米沢による情報発信などを行っています。

学生が本市で起業できるよう、支援する考えはないか。

〔企画調整部長〕 山形大学では、他の大学と連携し起業家

育成の取組を既に進めており、市として協力できることは支援していくとともに、市内各地で設置の取組が進んでいる*コワーキングスペースの場において、学生と企業が交流を持つことで、学生の起業意欲を向上させる取組を検討していきたいと考えています。

*コワーキングスペース：利用者同士の積極的な交流や共働といったコミュニティ形成を促すことを目的とし、机、椅子などの実務環境を共有しながら仕事を行う場所。

本会議場へようこそ



▲本会議場の当局席に座り説明を聞いている参加者

「大人の社会科見学」と題して、新庁舎を見学するコースを新たに設けた「高齢者いきいきデイサービス（ゆったりコース）」に参加された20名の方々が、6月22日に市役所と本会議場を見学しました。

議員席及び当局席に座り、議会の仕組みや設備の説明を受けた後、傍聴席へ移動して議場全体を見学しました。

市議会9月定例会 日程(予定)のお知らせ

- 8月31日 開会(本会議)
- 9月 2日 一般質問
- 5日 一般質問
- 6日 一般質問
- 7日 一般質問
- 9日 決算特別委員会
- 12日 決算特別委員会
- 13日 決算特別委員会
- 14日 決算特別委員会
- 15日 総務文教常任委員会
- 16日 民生常任委員会
- 20日 産業建設常任委員会
- 21日 予算特別委員会
- 28日 最終日(本会議)

※請願の提出期限は、8月24日(水)午後5時の予定です。

※日程は変更されることがありますので、傍聴の際は議会事務局までお問い合わせください。

TEL 22-5111 (内線5303・5304)

一般質問



しみんへいわ
市民平和クラブ

おおた かつのり
太田 克典 議員

本市におけるPFI事業の業績と評価について

本市におけるPFI事業にはどのようなものがあるか。
〔建設部長〕 米沢市公営住宅塩井町団地建替等事業（1号、2号、3号棟）があります。

山形市ではPFI活用指針を策定して事業選択の透明性を

を図っており、その指針には、

従来型よりどれだけ費用を削減できるか（VFM）が期待できない場合や、サービスの質が明確に向上しないのであれば、PFI事業の選定ができません、と記載されている。

本市ではどのような判断でPFI事業を選択したのか。

〔建設部長〕 PFI事業では、どの程度のVFMが得られる

かが大きな判断になると思います。本市の市営住宅におけるVFMは、引渡し時点で1号棟は約6千3百万円、2号棟は約2千4百万円、3号棟は約3千4百万円のVFMが得られるというところです。

VFMはあくまで事前調査の数字であるとの指摘がある。20年に及ぶ事業の途中では評価は定まらないのではないか。

〔建設部長〕 この3事業についての事業評価はまだ行っていませんが、内閣府の基本的な考え方では、事業期間終了の概ね3年程度前に取りまと

めることが望ましいとされていますので、今後事業評価の方法については検討していきたいと考えています。

本市における少子化の現状と対策について

予想を超えて少子化が進んでいる。少子化対策の専門部署、あるいはプロジェクトチームを組織すべきではないか。また、現在相談窓口となっている子育て世代包括支援センターや地域子育て支援センターでアンケートを行うなど、利用者の声を集約することも大事と思うがどうか。

〔健康福祉部長〕 センターを利用しているお子さん連れの方々などのお話をお聞きする機会を設けることができるかも含めて、検討させていただきます。

〔健康福祉部長〕 センターを利用して



※ PFI (Private Finance Initiative) : 民間の資金と経営能力、技術力を活用し、公共施設等の設計、建設などを行う公共事業の手法の一つ。

予算特別委員会

6月17日に開かれた予算特別委員会から

質疑の主なものをお知らせします。

【委員】 農業経営収入保険新規加入緊急奨励事業費補助金について、補助の金額や対象者はどうなっているのか。また、収入減少影響緩和対策と比較しての優位性は何か。さらに今後、加入者を増やすためにどういったことに取り組んでいくのか。

【農政課長】 補助額は3万円円で、その内訳として県が2万円、市が1万円となっている。補助対象となる加入要件としては、青色申告者が対象で、個人は令和4年12月まで、法人では令和5年3月までの新規加入者となっております。5年からの補償開始分を対象として補助するものです。

また、収入減少影響緩和対策に対する優位性について、収入減少影響緩和対策では米や大豆等が対象で、減収額が10%または20%の9割の補てんに対して、収入保険は、全ての農作物が対象で、減収額全額の9割の補てんとなっています。

加入者を増やす取組として

は、山形県収入保険加入推進協議会において周知し、農業共済組合で戸別訪問などをして勧誘しています。その他、本市としても、様々な農業者の会議の場を通じて、収入保険のPRに努め、加入率の向上を図っていきます。

【委員】 西吾妻山自然満喫誘客促進事業について、本市全体への経済効果はどれくらいあると考えているか。

【観光課長】 経済効果額は現時点で算出していませんが、西吾妻エリアはもちろん、様々なところに効果が波及するものと考えています。

【委員】 道路維持管理事業費について、毎年同じような箇所が補修の対象となっている印象を受けるが、道路維持・補修の現状と傾向はどのようになっているのか。

また、道路は毎日使う重要なインフラであり、安定的な維持が可能な予算を組むことを検討してもらいたいと思うか。

【土木課長】 舗装については、高度経済成長期に整備したも

が多くあり、経年劣化が進んでいるとともに、令和2年度及び令和3年度の大雪・低温の影響で痛みが進んでいると考えています。

予算組みについては、劣化が進行する前に計画的な補修等を行うことにより長期的なコスト削減ができることから、市道全体の長寿命化計画の策定の必要性は認識しているところですが、今後は、交通量の多い主要な幹線から、優位な財源を活用するなどして計画的な道路補修を行っていきます。



▲道路の補修作業状況

【委員】 道路パトロールでの情報収集や郵便局との連携協定における情報提供の現状はどうなっているのか。

【土木課長】 令和3年度の道路破損等の情報提供については、パトロールによる件数は、2218件、各コミセンや市職員からの情報は、134件となっています。令和3年度の郵便局からの情報提供は、

637件であり、この数値を見ると、郵便局との連携はスムーズに行われていると捉えています。

【委員】 学校給食原材料費高騰対策補助金について、地方創生臨時交付金を活用することで給食費の原材料の値上げ分を補填し、現在の給食費については値上げしないということだが、今後、現状維持ではなく、保護者負担を引き下げる施策も考えるべきではないかと思うが現状の考えはどうか。

また、これからさらに物価が上昇し、予算が不足した場合、別途追加補正するという考えでよいか。

【学校教育課長】 今後、このような交付金が活用できる際には、保護者負担を引き下げること踏まえて検討していきます。

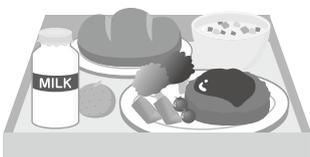
また、今回補正した金額については、今後のさらなる物価上昇も見越したものとされていますが、その想定を上回る物価上昇があった場合は、再検討も必要になるかと考えています。

【委員】 給食費の保護者負担について、県内の各自治体の状況を見てみても、完全無償化あるいは一定の額を値下げす

るとい流れも出てきている。これまで本市では、消費税の引上げや材料費の高騰の際に、給食費を引き上げてきた経過があったと思う。今後、社会情勢の変化や、全国的な給食費についての考え方を踏まえ、給食費をどうするか検討するべきではないか。

【学校教育課長】 給食費については、無償化を実施している自治体もあり利点はあると考えていますが、食育の観点で言えば、給食に関わってくださる方々への感謝の心を育てるといような観点も重要だと思っています。

子どもたちには、ご家庭から給食費をいただいて給食が成り立っていることに触れた指導も大事だと考えています。子どもたちが大人になって子どもを持ったときに同じように食事の大切さを伝えられるようになることにもつながると考えています。そのようなことから給食費については、慎重に考えていかなければならないと思っています。



5月臨時会で審議された議案

議案番号	件名	結果
報第1号	専決処分事件の報告について	承認
承第1号	専決処分事件の承認を求めることについて	承認
議第36号	米沢市固定資産評価員の選任について	同意
議第37号	令和4年度米沢市一般会計補正予算(第1号)	可決

6月定例会で審議された議案

議案番号	件名	結果
報第2号	令和3年度米沢市一般会計継続費繰越計算書の報告について	承認
報第3号	令和3年度米沢市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	承認
報第4号	令和3年度米沢市一般会計事故繰越し繰越計算書の報告について	承認
報第5号	令和3年度米沢市水道事業会計予算繰越計算書の報告について	承認
報第6号	令和3年度米沢市下水道事業会計予算繰越計算書の報告について	承認
報第7号	令和3年度米沢市立病院事業会計継続費繰越計算書の報告について	承認
報第8号	令和3年度米沢市立病院事業会計予算繰越計算書の報告について	承認
報第9号	米沢市土地開発公社の令和3年度経営状況及び令和4年度事業計画の報告について	承認
報第10号	公益財団法人米沢上杉文化振興財団の令和3年度経営状況及び令和4年度事業計画の報告について	承認
報第11号	一般財団法人米沢市スポーツ協会の令和3年度経営状況及び令和4年度事業計画の報告について	承認

議案番号	件名	結果
報第12号	一般社団法人米沢観光コンベンション協会の令和3年度経営状況及び令和4年度事業計画の報告について	承認
報第13号	株式会社米沢食肉公社の令和3年度経営状況及び令和4年度事業計画の報告について	承認
議第38号	米沢市公平委員会委員の選任について	同意
議第39号	米沢市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
議第40号	財産(バス車両)の取得について	可決
議第41号	米沢市市税条例等の一部改正について	可決
議第42号	米沢市立病院使用料及び手数料条例の一部改正について	可決
議第43号	米沢市子育て世代活動支援センターの設置及び管理に関する条例の設定について	可決
議第44号	特定事業(米沢市公営住宅塩井町団地建替等事業(2号棟)事業契約の一部変更について	可決
議第45号	米沢市庁舎解体工事請負契約の一部変更について	可決
議第46号	米沢市勤労者福祉センターの設置及び管理に関する条例の廃止について	可決
議第47号	市道路線の廃止について	可決
議第48号	市道路線の認定について	可決
議第49号	令和4年度米沢市一般会計補正予算(第2号)	可決
議第50号	米沢市宮陸上競技場第3種公認更新等改修工事請負契約の締結について	可決
議第51号	令和4年度米沢市一般会計補正予算(第3号)	可決

6月定例会で審議した意見書の結果は次のとおりです。

意見書

可決

◆水田活用の直接支払交付金の見直しに関する意見書の提出について(発議第4号)

(衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、農林水産大臣あて)

※6月定例会最終日に議員提出の意見書1件を原案のとおり可決し、直ちに関係機関に送付しました。

本会議・各委員会はライブ中継と録画放送で視聴できます

【本会議】

本市議会のYouTubeチャンネルでライブ中継及び録画放送を実施しています。
さらに、NCVケーブルテレビ(022ch)での生放送を実施しています。

【委員会】

本市議会のYouTubeチャンネルでライブ中継及び録画放送を実施しています。



<https://www.city.yonezawa.yamagata.jp/1700.html>

米沢市議会 YouTube 検索

令和4年度 米沢市中学生議会

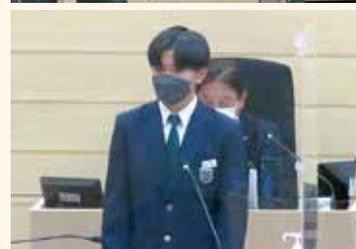


(撮影時のみマスクを外しています)

5月10日、市議会議場を会場に米沢市中学生議会を開催しました。
米沢市中学生議会は、学校生活をよりよいものにしていこうとする態度や、市政と市議会への興味関心と理解の深化を目指し、よりよい社会に参画する資質や能力の基礎を培うことを目的とするものです。

中学生が議員となり「SDGs 私たちができる実現可能な取組とは？」をテーマとして、本市の市政やまちづくり、自分たちの中学校や学区の身近な問題等について、質問や提案を行いました。

生徒たちは、緊張の中自分たちの考えをしっかりと市長と当局の職員に質問し、各校の生徒会による決意表明について決議しました。



かりゆし議会を開催しました

「かりゆし議会」は、沖縄市と本市の姉妹都市提携25周年を記念して令和元年度より始めたものです。



今年5月15日に、本土復帰50周年という歴史的節目を迎えた沖縄。出席者が遠く離れた沖縄市を想い、色彩豊かなかりゆしウエアを着て議席に着席すると、沖縄の風情が漂う議場となり6月定例会を締めくくりました。



▲6月定例会最終日にかりゆしウエアを着て出席した本会議出席者
(撮影時のみマスクを外しています)

あしがき

新しい市役所の4階議場に議論の場が移って一年に。

6月議会が終わる頃、解体中だった三角屋根の旧議事堂は姿を消しました。

過日、遊佐町の「少年議会」の取組を紹介、全国放送されたのを視ました。

中学生の市長と中学生の議員を中学生が選挙し、少年議会で議論し、予算額の範囲で事業を実施する本格的な「自治」と「民主主義」を学ぶ取組です。

世界からひと足遅れて始まった日本の「18才からの選挙」です。

大いに参考にしたいと思いました。

新しい議場から子どもたちも含めた「市民の声が届く議会と市政」を目指していきたい。

【編集委員 高橋 壽】

○議会だより編集委員会○

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 山田富佐子 |
| 副委員長 | 中村 圭介 |
| 委員 | 古山 悠生 |
| | 小久保広信 |
| | 山村 明 |
| | 高橋 壽 |